

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 平野区

学 校 名 喜連北小学校

学校長名 廣岡 浩

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 47名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は大阪市平均より2ポイント上回っただけでなく、0.3ポイントとわずかではあるが全国平均を上回った。算数については全国平均を1.4ポイント下回ったが、僅差となってきた。両教科とも特筆すべきは無解答率の低さといえる。算数は全国が3.4ポイント、大阪市3.2ポイントのところ、本校は1.3ポイントであった。国語においては、全国4.2ポイント、大阪市3.3ポイントと高いところ、本校は0.9ポイントと、ほぼ全員が全問解答しようという意識がうかがえる。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「情報の扱い方に関する事項」では、全国平均が86.9ポイントのところ95.2ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」においては全国平均74.6ポイントのところ90.5ポイントと15ポイント上回った。思考力・判断力・表現力等については「話すこと・聞くこと」において、6.6ポイント低い結果であった。問題形式別の傾向で見たとき、選択式より、短答式・記述式のほうが正答率が高い。このことから、国語に関する知識・技能はしっかりと身に着けている。その力を活用して自分の思いや考えを表現する力も持ち合わせているが、端的に表現されたものを選択する力が少し弱いのではないかとと思われる。

〔算数〕全体的には全国平均まであと一步というところである。出題された領域でみると「数と計算」領域は全国平均よりも2ポイント以上も高い。「図形」と「変化と関係」で苦戦したようだ。基礎的知識・技能が備わっていると思われる領域においては、記述式解答において、より高得点を獲得している。このことは思考力・表現力を身に着けていると考えられる。

今大切にされている思考力・表現力は、基礎基本も大切にしながら獲得することが重要である。

質問調査より

児童質問調査において、本校では毎年注目している項目がある。それが質問番号13の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」である肯定的な回答が100%であることはもちろんであるが、最も肯定的な回答も86.7%と全国の79.5%を大きく上回っている。これは、6年間学級・学年・学校であらゆる機会を活用して指導を続けている成果である。また、「自分に良いところがあるか」「他者に認められているか」といった自己肯定感や「人の役に立ちたい」「社会貢献をしたい」といった自己有用感も全体的の高い。

今後の取組(アクションプラン)

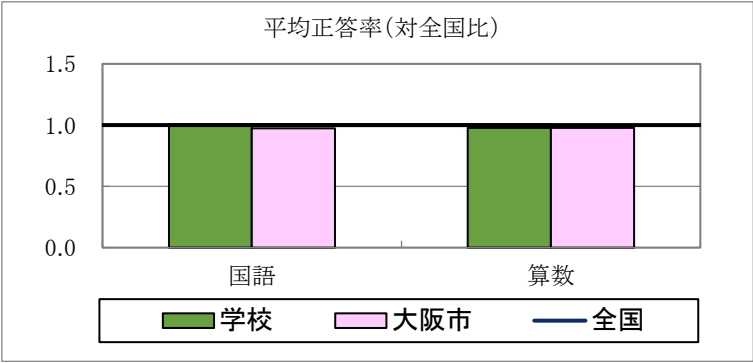
学習面においては、今後も言語活動における思考力・判断力・表現力の育成を目指す。そのためには、その基となる基礎・基本の知識・技能の獲得も小学校においてはおろそかにはできない。だからといってこれまでのような知識・技能の獲得に主軸を置く学習への後退ではなく、最低限の知識・技能をどう活用しつつ、更なる獲得につなげ、発信する力にしていけるかを今後も研究し、授業力の向上につなげる必要がある。

学校全体で、児童の自己有用感・自己肯定感と人権意識を今後も高めていく。

【 全体の概要 】

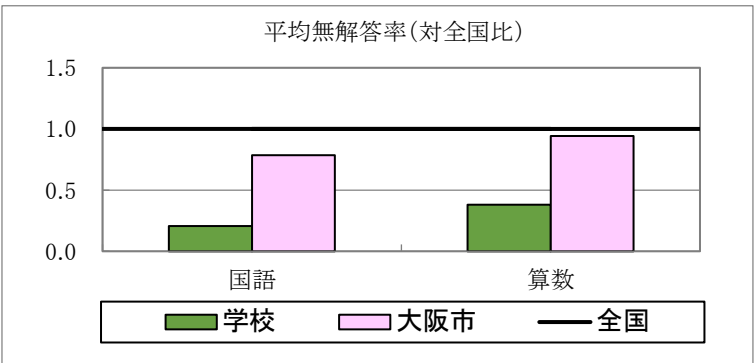
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	68	62
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



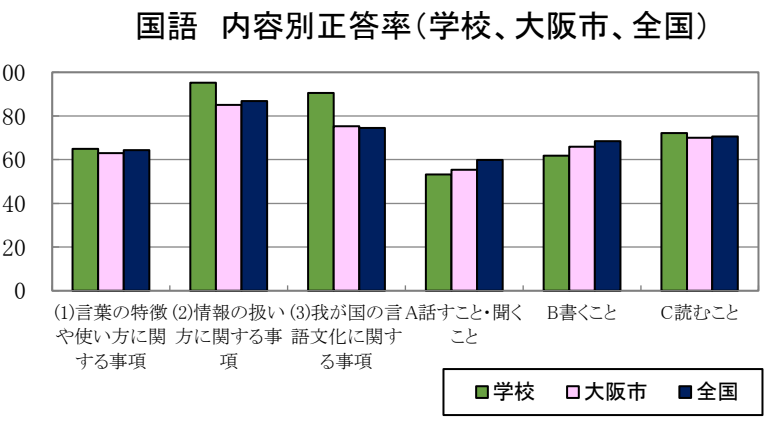
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.9	1.3
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



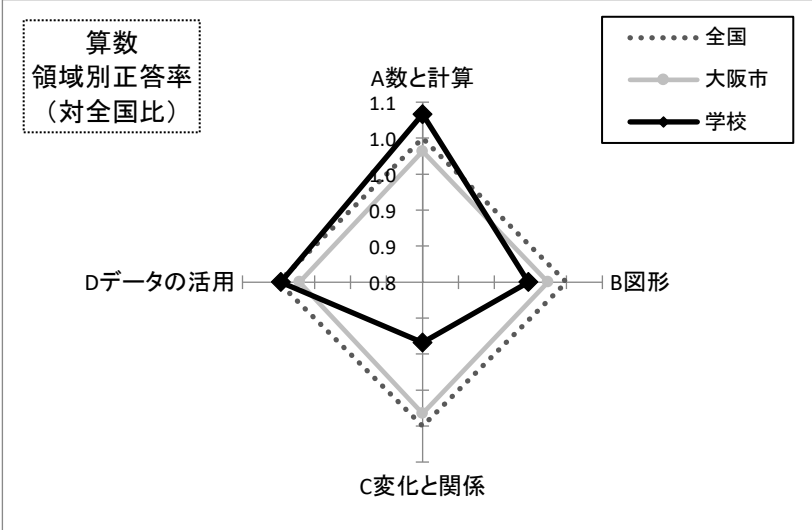
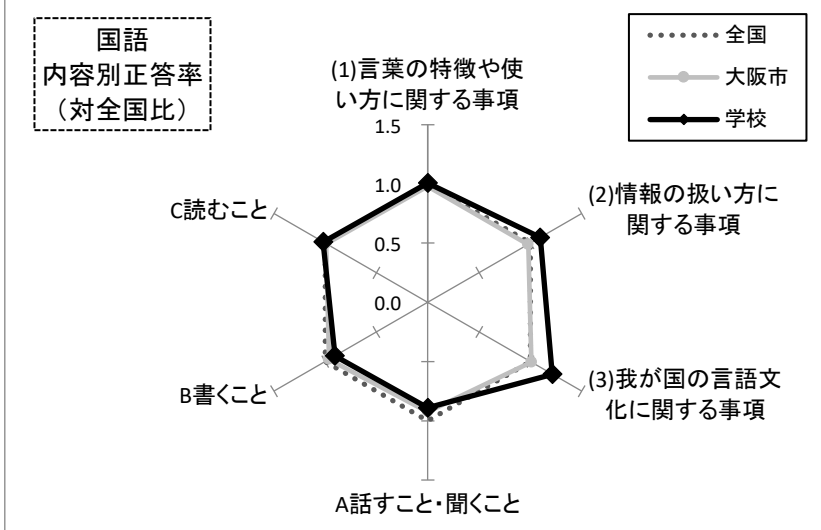
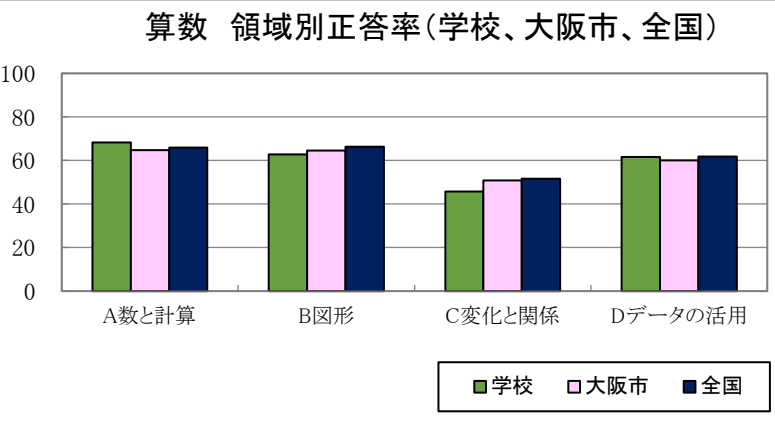
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	64.9	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	95.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	90.5	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	53.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	61.9	65.9	68.4
C 読むこと	3	72.2	70.1	70.7



【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.2	64.8	66.0
B 図形	4	62.8	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	45.7	50.8	51.7
D データの活用	4	61.6	60.0	61.8



児童質問より

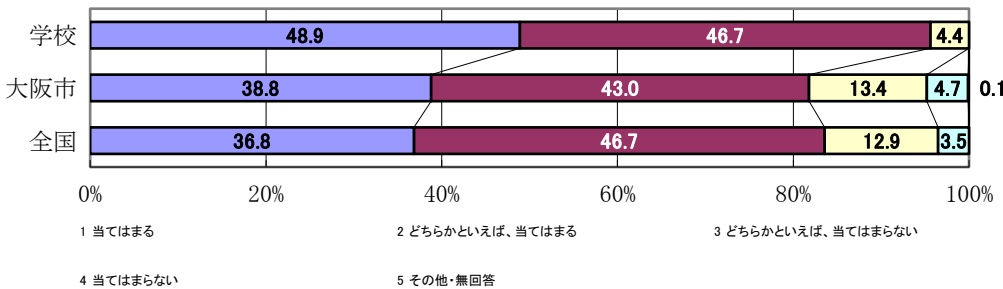
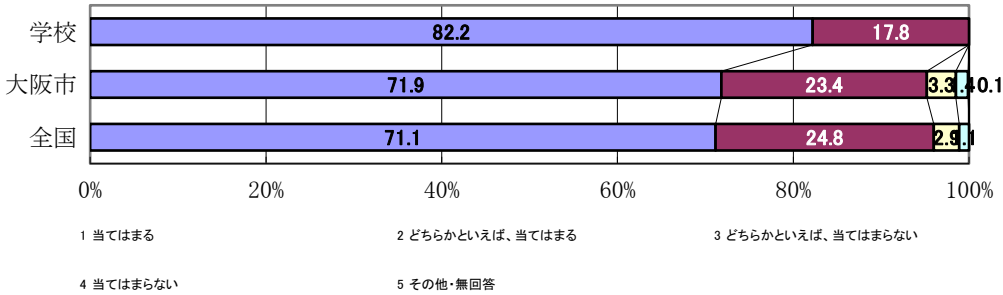
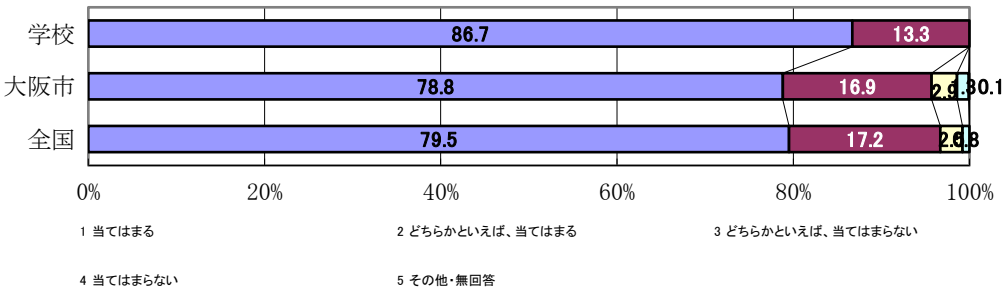
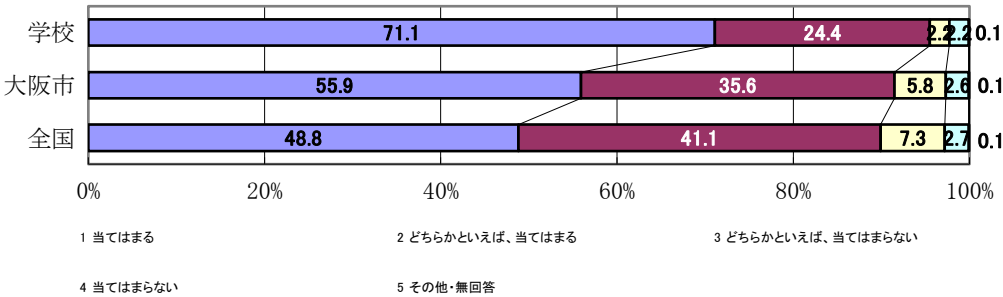
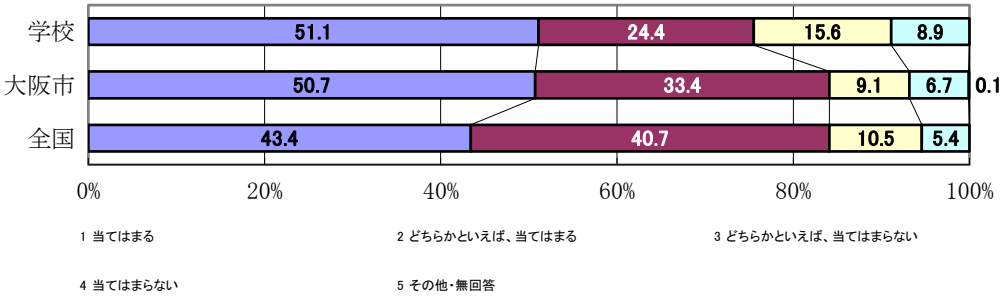
質問番号
質問事項
9
自分には、よいところがあると思いますか

10
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

13
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

15
人の役に立つ人間になりたいと思いますか

25
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

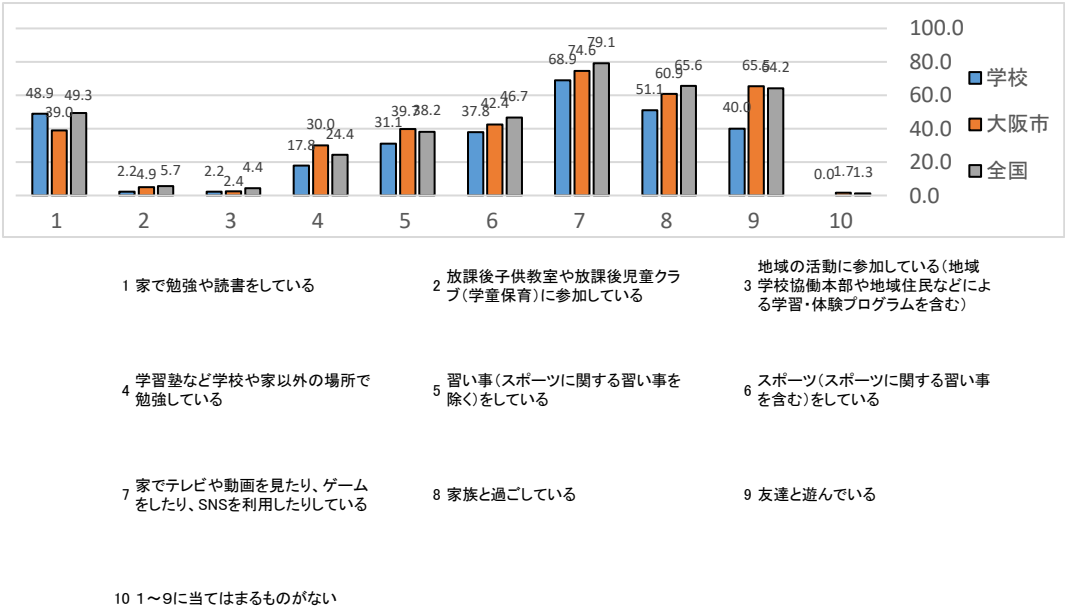


児童質問より(26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を
過ごすことが多い
ですか
(複数選択)



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

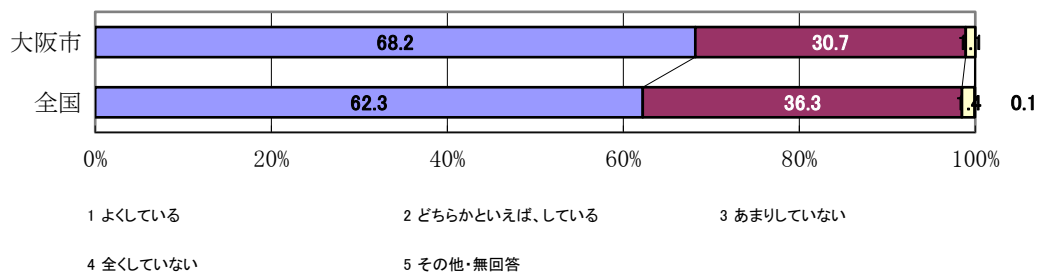
質問番号

質問事項

16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

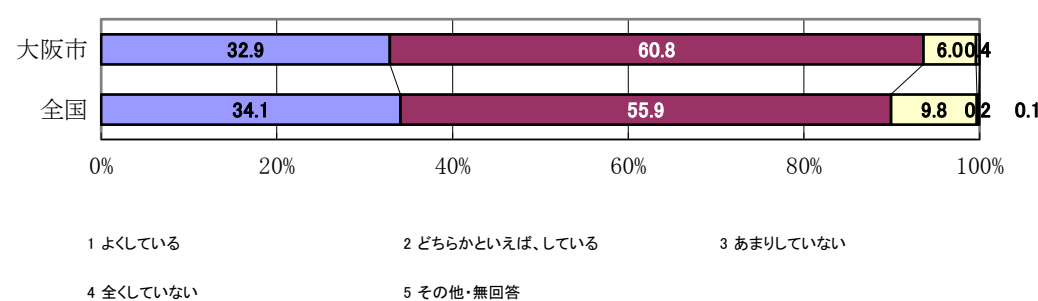
学校 「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

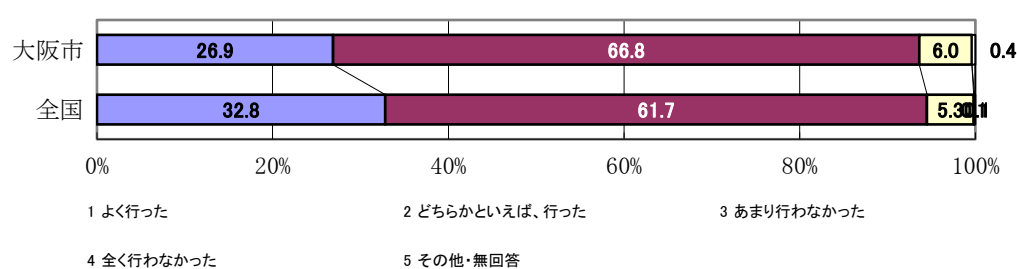
学校 「よくしている」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

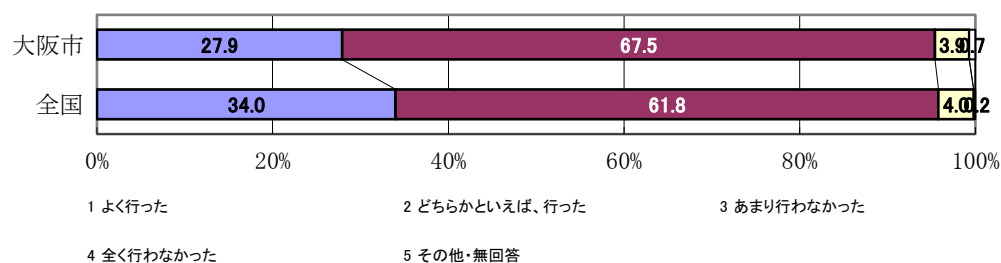
学校 「よく行った」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「よく行った」を選択



35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

学校 「よく行った」を選択

